新型コロナウイルス感染防止対策による

施設利用ハンドブック

2020.10.29　ver.6

運用開始 2020.12.1 から

独立行政法人　国立青少年教育振興機構

国立那須甲子青少年自然の家

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

提出書類について・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

生活について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

宿泊室等について・・・・・・・・・・・・・・・・・　4・5

なすかしの森レストラン・浴室の使い方・・・・・　6

研修室等の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

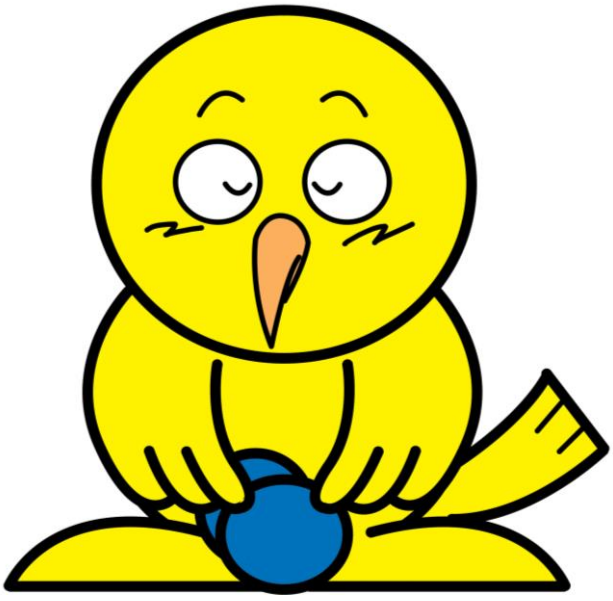
活動プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8・9

活動施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

館内配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

傷病者発生対応マニュアル・・・・・・・・・・・・　12

各ページの青字は、ver.5 からの主な追加・変更点です。



はじめに

国立那須甲子青少年自然の家では、「新しい生活様式」に取り組んだうえで、当施設での体験活動を安心・安全かつ有意義に行っていただくために本書を作成しました。本書は、「利用の手引き」の変更点と重要事項を抜粋して記載していますので、ここに記載のない項目は、これまでの「利用の手引き」をご確認ください。なお、国による新たな基準の公表や変更、自治体の要請の変更に伴い、本書は見直し・改訂をしていきますことをご了承ください。

○利用制限

- 宿泊室、および活動エリアのスペースにゆとりを持たせるため、１日当たりの宿泊定員を当面の間、６団体、約２５０名とします。**ただし、寝具の利用状況によっては、これより少なくなります。**
- ご利用日の１４日前からの検温や、新型コロナウイルスに感染した方及び感染の疑いのある方との濃厚接触者ではないことを確認のうえ、来所をお願いします。

  以下１つでも該当する場合は利用を禁止します。

  ① 37.5℃以上の発熱がある
  ② 平熱比＋１℃以上の発熱がある
  ③ 息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさがある
  ④ 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある
  ⑤ 過去２週間以内に、感染が引き続き拡大している国・地域（海外）へ訪問したことがある
- 新規の利用申し込みは、web サイトなどでお知らせしていきますので、 随時ご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。なお、申し込み係る提出書類等は、通常通りですが、加えて**「同意書」**のご提出をお願いします。（詳細は P2）

○携行必需品

※同行される講師、運転手、添乗員、カメラマンにも団体責任者からお伝えください。

□**上履き**（館内はすべて土足厳禁です。）※貸出用のスリッパはございません。

□**マスク**　□**体温計**　□**うがい用コップ**

□**消毒液・除菌作業用具など**　**※使用施設の消毒にご協力をお願いします。**

□健康保険証　□洗面用具（タオル・歯ブラシ・石鹸・シャンプーなど）

※浴室の脱衣用かごは撤去していますので、各自で**袋など**をご持参ください。

□救急バッグ　□長袖・長ズボン・靴下・タオルなど　※屋外でのけが防止のため

○冬季における留意事項

- 冬季は最低気温がマイナス１０℃になることもあります。防寒対策をしっかり準備してください。
- 車両は、必ず**スタッドレスタイヤを装着し、念のためタイヤチェーンも持参**してください。

○傷病者発生時の運搬について

滞在中に傷病者が発生した場合は、利用団体各自で病院へ送迎していただきますので、必ず**緊急車両**を１台はご用意ください。

提出書類について（「利用の手引き」P2 参照）

※重要な内容になりますので、団体責任者・連絡責任者は必ずご一読ください。
※提出書類はすべてホームページでダウンロードが可能です。
＜事前に提出が必要な書類＞
- □　利用団体申込書
- □　活動プログラム
- □　食事・シーツ・教材等注文書
- □　新型コロナウイルス感染防止対策による施設利用のお願い（同意書）の写し

＜入所時に提出が必要な書類＞
- □　新型コロナウイルス感染防止対策による施設利用のお願い（同意書）の原本
- □　健康観察チェックシート（入所時提出用）
- □　利用団体票
- □　利用者名簿

＜滞在中に提出が必要な書類＞
- □　健康観察チェックシート（宿泊利用団体用）

時期	書　類　名	備　考
予約後 すみやかに	□　利用団体申込書	
利用の ４０日前	□　活動プログラム □　食事・シーツ・教材等注文書 □　新型コロナウイルス感染防止対策による施設利用のお願い（同意書）の写し	「新型コロナウイルス感染防止対策による施設利用のお願い（同意書）」の原本は、入所時にご提出ください。 なお、食事に関するアレルギー等のご相談については、「利用の手引き」P6を参照してください。
入所時	□　新型コロナウイルス感染防止対策による施設利用のお願い（同意書）の原本 □　健康観察チェックシート（入所時提出用） □　利用団体票 □　利用者名簿	入所手続き時に受付でご提出ください。 「利用者名簿」は氏名、年齢、性別の記載があればしおり等でも差し支えありません。
滞在中	□　健康観察チェックシート（宿泊利用団体用）	就寝時と起床時の検温結果をシートに記載し、起床後午前９時までに事務室へご提出ください。

生活について

１．健康管理のお願い

- **１日２回（起床時、就寝時）の検温、健康観察**をお願いします。
- 発熱、咳、だるさ（倦怠感）等の症状があった場合は、直ちに事務室へ連絡し、職員の指示に従ってください。（傷病者発生時の対応についてはｐ１２を参照）

２．活動中のお願い

- 屋内では**マスク**の着用を徹底してください。屋外では活動に合わせて着用してください。
- こまめな手洗い、**手指の消毒**をお願いします。
- トイレや食堂内などでは、**最低１ｍ間隔で並んで**ください。
- **３密（密閉・密集・密接）の回避**を心がけてください。
  宿泊室や活動施設には当面の間、定員を設けます。（宿泊室ｐ４　活動施設ｐ10）
- できるだけ、**屋外の活動**を計画してください。
- 屋内では、**暖房中であっても定期的な換気**を行ってください。
- 近距離での会話や、大きな声、身体接触の伴う活動はお控えください。
- 屋外であっても十分な距離を取って、活動してください。
- ごみの処理に関しては、団体の責任において、**マスクは個別の袋に入れて処分**するなど、所定の方法で始末してください。

◎原則として、以下の標準生活時間を目安に、活動していただきます。

６：３０	７：２０ ～ ９：００	８：４０ ～ ９：００	９：００ ～ １２：００	１１：４５ ～ １３：３０	１３：００ ～ １７：００	１７：２０ ～ １９：４５	１６：３０ ～ ２２：００	１８：００ ～ ２２：００	２２：００
起床/清掃 **検温**	朝食	宿泊室 点検	午前の 活動	昼食	午後の 活動	夕食	入浴	夜の 活動	**検温** 消灯

- 朝・夕べのつどいは実施いたしませんが、朝と夕方に放送を流します。
- 代表者打ち合わせは実施いたしません。代表者の方は１６時半から１７時の間に事務室に来ていただき、連絡事項を受け取ってください。
- 食堂は座席数を１００名とし、時間を指定させていただきます。（詳細はｐ6）
- 入浴は完全入れ替え制とし、時間を指定させていただきます。（詳細はｐ6）
- **活動時間にゆとりをもって計画をしてください。また、施設から上記時間外でご案内することもあります。**

宿泊室等について

１．冬季の換気対策について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、暖房中であっても定期的な換気に、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

〇宿泊室出入口扉の開放

・退所の際と日中活動に出る際は、換気のため、宿泊室出入口扉を開放してください（おおむね８：３０～１５：３０）。

・宿泊室の屋外に面した窓を開けたままにすると凍結して閉まらなくなるため、長時間の開放は厳禁です。

※ 悪天候により窓を開けることが出来ない場合であっても、日中は宿泊室の換気扇等で換気を行います。なお、換気扇等の ON・OFF は職員が行うため、一部の部屋については、換気扇スイッチを操作するため、部屋内に入る場合があります。

〇その他の対策

・就寝時もマスク着用を推奨します。可能な限り自主的に感染予防に努めてください。

・換気により室温が低下することが想定されます。暖房は可能な限り配慮いたしますが、上着を一枚多く重ね着するなど体温調節ができるよう服装の工夫もお願いします。

２．宿泊部屋の定員

団体間の接触を避けるため、各宿泊棟をユニット毎に区分けして団体毎に配室します。

宿泊棟	部屋の形態	定員（名）	部屋数	計（名）	合計（名）
宿泊棟Ａ棟	16 人部屋（2 段ベッド）	8	１３	１０４	１４５
	10 人部屋（和室）	5	7	３５	
	リーダー室（洋室）	1	2	2	
	リーダー室（和室）	2	2	4	
宿泊棟Ｂ棟	16 人部屋（2 段ベッド）	8	7	５６	８０
	10 人部屋（和室）	5	4	２０	
	リーダー室（洋室）	0	0	0	
	リーダー室（和室）	2	2	4	
宿泊棟Ｃ棟	２０人部屋（和洋室）	9	3	２７	２９
	リーダー室（洋室）	0	0	0	
	リーダー室（和室）	2	1	2	
自然館和室	20 人部屋（和室）	0	0	0	0
学習室①	20 人部屋（和室）	１０	1	１０	１０
ボランティア宿泊室	10 人部屋（和室）	0	0	0	0

計２６４名

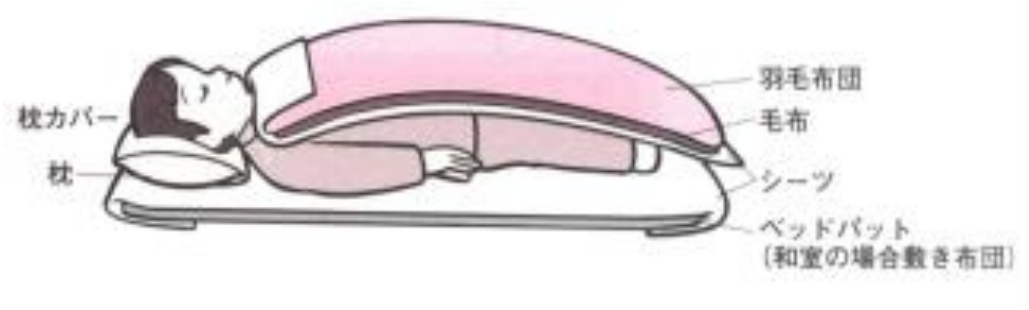
※換気扇等がなく、換気が困難な宿泊部屋は定員を０としています。

３．部屋での過ごし方

・可能な限りマスクを着用してお過ごしください。

・近距離での会話や、大きな声、身体接触を控えてお過ごしください。

・シーツ、枕カバーは図の通りに使い、**寝具に直接肌身が触れないように適切な利用**をお願いします。



４．シーツ・枕カバーの返却方法

・チェックインの際に指定の袋をお渡しします。

・退所日の朝、部屋ごとに**指定の袋**に入れてリネン室奥の返却場所へ返却ください。

５．退所日の点検について

・宿泊棟内の整理整頓、清掃については、従来通りの実施をお願いします。

・宿泊室点検チェックシートを基に高頻度接触部位（スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵、ベッドのはしごなど）を**団体が持参した消毒液にて消毒作業にご協力**ください。

なすかしの森レストランの使い方

- 座席は１００名定員とします。
- ３密を避けた座席配置（横並びで最低１ｍ間隔）でお座りください。
- 食事時間については、事前に案内しますので、時間内でのご利用をお願いします。
- マスク着用、入室前の手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- 配膳等で並ぶ場合は最低１ｍ間隔で並んでいただきます。団体指導者は密集しないよう参加者へ指導をお願いします。
- 原則、盛付方式としますが、食数が多くなった場合は団体代表者等にご協力いただくなど、他の感染防止対策を講じた方法を行う場合もあります。
- ドリンクバーは通常通りご利用できます。
- 摂食の時のみマスクを外し、食事が終わったらマスクを着用してください。
- ご飯（白米）と味噌汁はおかわりできます。

レストランの様子

浴室の使い方

- 入浴時間　１６：３０～２２：００
- 脱衣所内の密を避けるための入室人数は１０～１５名程度とします。
- 入浴時間については、ゆとりをもって事前に案内しますので、時間内でのご利用をお願いします。
- 浴室内でもできる限り間隔をあけてご入浴ください。
- 団体指導者は、参加者が３密にならないよう監視・指導の徹底をお願いします。

脱衣所

研修室等の使い方

〇研修室

- P10 の活動施設一覧の定員等をご確認ください。
- 活動内容、人数を考慮して事前に研修室を指定させていただきます。指定された研修室内での活動をお願いします。
- **１時間に１回程度、２つの窓やドアを同時に開けるなどして換気**を行ってください。
- 研修室内においても**マスクを着用**して、**入室の際には団体が持参した消毒液にて**可能な限り**手指の消毒**をしてください。
- 使用後については、入所時に渡される研修室点検チェックシートを基に高頻度接触部位（スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵など）や使用したテーブル・椅子等を**団体が持参した消毒液にて消毒作業にご協力**ください。

〇事務室

- **入室者を限定（１～２名程度）**し、**多人数で入室しない**ようにお願いします。
- 物品の貸出・返却についても限定された入室者が行うようにお願いします。

館内入口には消毒液を設置

手洗い場の様子

食堂入口の様子

キビタルーム（使用不可備品の表示）

活動プログラム

・新型コロナウイルスへの感染症対策を講じて実施できる活動プログラムの紹介です。
・活動時、屋内ではマスクの着用を徹底してください。屋外では活動に合わせて着用してください。
　また、ソーシャルディスタンスをお守りください。
・活動プログラムの実施方法などについては、ご相談ください。
・使用した貸し出し物品の消毒にご協力ください。

（１）登山・ハイキング活動
　・緊急車両を用意していただいた上で、活動してください。
　・休憩中も、ソーシャルディスタンスを確保してください。
　・学級ごとで行うなど、少人数での活動をお願いします。

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
パノラマハイキング	パノラマ展望台までのハイキングコースです。	当施設敷地内 パノラマ展望所	１～２時間	
ナイトハイキング	暗闇の中を歩く活動です。複数のコースがあります。	当施設敷地内	１時間以内	１人１本の懐中電灯を持参してください。

（２）雪中活動
　・休憩中も、ソーシャルディスタンスを確保してください。
　・学級ごとで行うなど、少人数での活動をお願いします。

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
ネイチャースキー	歩くスキーを使って雪の中をツーリングして楽しむことができます。	当施設敷地内	1～2時間	ネイチャースキー用具一式は貸出可能です。
スノーシューハイキング	スノーシューを履いて雪の中のハイキングを楽しむことができます。	当施設敷地内	1～2時間	スノーシューは貸出可能です。
かんじきハイキング	かんじきを履いて雪の中のハイキングを楽しむことができます。	当施設敷地内	1～2時間	かんじきは貸出可能です。
雪上運動会	雪玉を使った玉入れや雪上綱引きなどができます。	当施設敷地内	1～2時間	玉入れカゴ、綱は貸出可能です。
そりすべり	施設周辺の坂を使って、そり遊びができます。	当施設敷地内	1～2時間	貸出用そりもありますが、厚手のビニール袋などでも楽しめます。
雪像・かまくらづくり	雪を素材として、様々な形のものを作ることができます。かまくらを作り中で遊ぶ体験もできます。	当施設敷地内	1～2時間	スコップは貸出可能です。

（３）レクリエーション活動
　・学級ごとで行うなど、少人数での活動をお願いします。
　・道具、材料の持ち出し、返却は職員が立ち会います。

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
室内 オリエンテーリング	室内で行うオリエンテーリングです。あらかじめ団体でポイントを設置していただきます。	施設内	１～２時間	１人１枚の地図は、ホームページよりダウンロードして印刷してください。密集して話し合うようなことのないように配慮をお願いします。
ビジュアル オリエンテーリング	室内でポイントの代わりに用意された写真と同じ場所を探すオリエンテーリングです。	施設内	１～２時間	
屋外キャンプファイヤー	火を囲んでゲームなどをして楽しむことができます。	営火場B	１～２時間	歌を歌うことや、身体接触の伴うゲームなどはお控えください。
屋内キャンプファイヤー	火を囲んでゲームなどをして楽しむことができます。	プレイホール	１時間以内	
キャンドルファイヤー	ろうそくの火を囲んでゲームを楽しむことができます。	各室内活動施設	１～２時間	

なすかしチャレラン	記録に挑戦できる複数の種目があります。	各室内活動施設	１～２時間	
ネイチャービンゴ	ビンゴ用紙に合わせた自然物をお探しください。	当施設敷地内	１～２時間	ルールブックや記録証はホームページよりダウンロードして印刷し、ご利用ください。
俳句・短歌作り	当施設の自然を楽しみながら、俳句や短歌を自由に楽しむプログラムです。	当施設敷地内	１～２時間	

（４）調理・炊事活動

１２月～４月までの冬期間は実施できません。

（５）創作活動

・すべて材料費が必要なプログラムです。
・道具、材料の貸し借りはしないでください。
・道具、材料の持ち出し、返却は職員が立ち会います。

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
白河絵付けだるま	伝統工芸である白河だるまの絵付けを体験することができます。和紙を貼るものなど、種類があります。	各室内活動施設	１～２時間	
焼き板	自分の好きな形にカッティングした板を焼き上げます。ペイントもできます。	野外炊事場	２～３時間	１つのかまどでの活動する人数を制限します。
キーホルダー	台座や目玉、金具など基本的な材料は購入して、キーホルダーを作ることができます。落ち枝や木の実などを使うこともできます。	各室内活動施設	１時間	
竹細工	竹とんぼや、竹はしなどを作ることができます。	各室内活動施設	３時間	キャンセルができません。
ネイチャー万華鏡 バードコール 竹とんぼ	創作キットを購入して、作ることができます。万華鏡には自然物を取り入れてもよいです。	各室内活動施設	１～２時間	
森のたより	木の板をはがきに見立てて、実際に郵送できます。	各室内活動施設	１～２時間	
わくわく木工	自然物を用いてオリジナルの作品を作ることができます。	各室内活動施設	１～２時間	材料費とは別に講師の申請が必要です。（有料）

（６）歴史・文化活動

・道具、材料の持ち出し、返却は職員が立ち会います。

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
熊撃ちの話	猟師の方が実際に体験した熊撃ちの話を聞くことができます。	各室内活動施設	１時間	講師（有料5,000円）の申請が必要です。
星座観察	施設周辺で星座早見盤や望遠鏡を使った星座観察ができます。	当施設敷地内	１時間	

活動施設一覧

新しい生活様式に対応した定員および実施可能な活動を記載しております。

施設名	定員	実施可能な活動	備考
プレイホール	２５０名	なすかしチャレラン キャンプファイヤー キャンドルファイヤー レクリエーション活動・運動遊びなど	各種備品あり（利用の際は事務室まで、お問い合わせください。） いす
わんぱくルーム	４０名	キャンドルファイヤー なすかしチャレラン	※床がカーペットのため、原則飲食不可（要相談）
キビタルーム	５０名	研修・講義 キャンドルファイヤー なすかしチャレラン クラフト	机・いす
学習室②	３５名	研修・講義 キャンドルファイヤー なすかしチャレラン クラフト	机・いす
学習室③	１５名	研修・講義 キャンドルファイヤー なすかしチャレラン クラフト	机・いす
エコルーム１	４０名	研修・講義 キャンドルファイヤー なすかしチャレラン クラフト	机・いす（常設）
エコルーム２	６０名	キャンドルファイヤー なすかしチャレラン クラフト	角机・角いす（常設） 大きな柱が中央に２本
つどいの広場	要相談	雪中活動	
わんぱく広場	〃	雪中活動	※わんぱくルーム前の斜面
わくわくひろば	〃	雪中活動	
営火場Ａ	〃	雪中活動	
第１スキー場	〃	雪中活動	
第２スキー場	〃	雪中活動	急斜面の為、そりは不可
営火場Ｂ	〃	キャンプファイヤー	電源あり（森の中）
営火場Ｃ	〃	雪中活動	本館から一番近い

※いす・机などの備品について使用不可の表示があるものは、触れないようにお願いします。

※教材庫や倉庫の備品を使用の際には、必ず事務室へお声かけください。

館内配置図

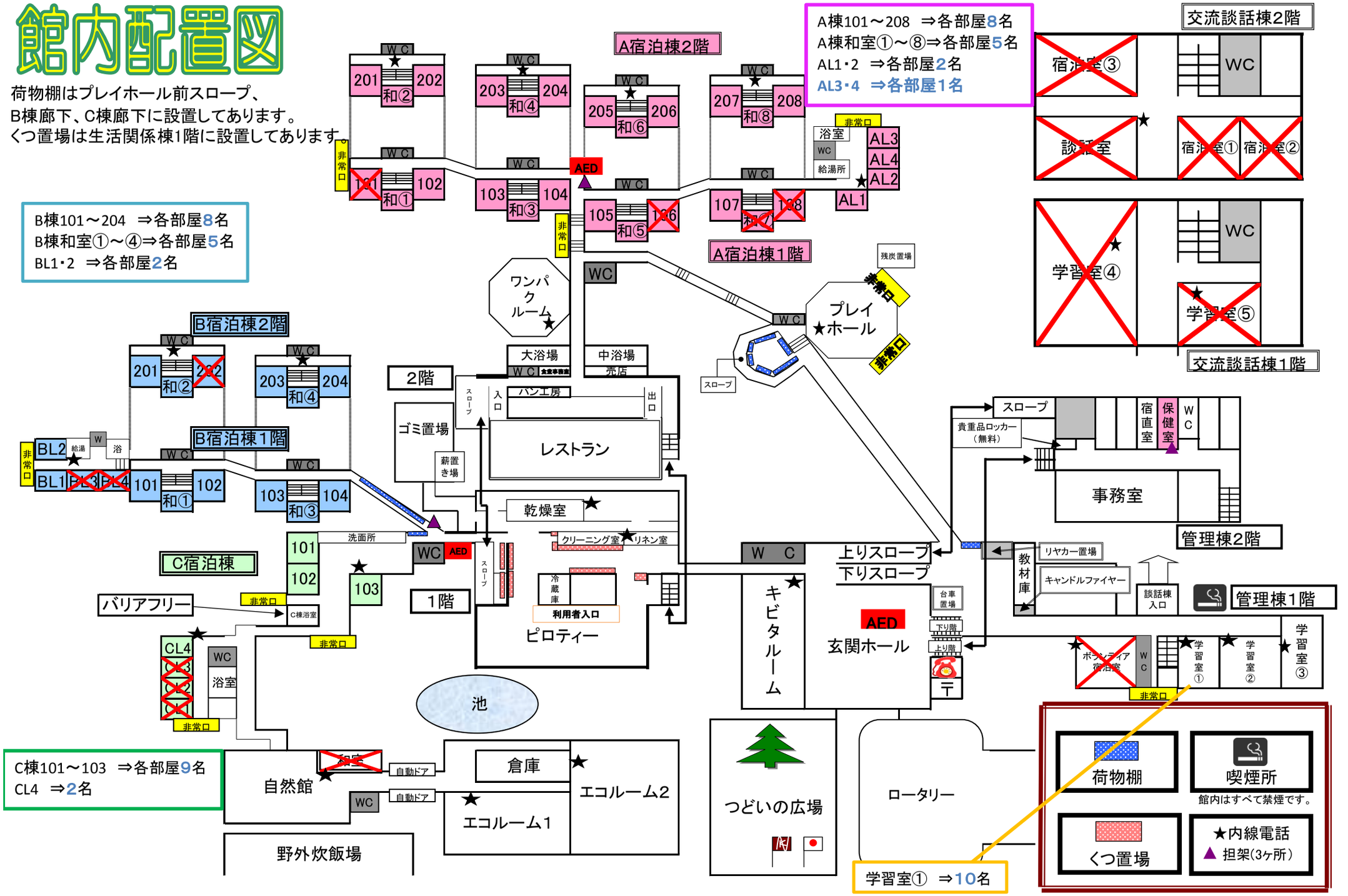
荷物棚はプレイホール前スロープ、
B棟廊下、C棟廊下に設置してあります。
くつ置場は生活関係棟1階に設置してあります。

A棟101～208　⇒各部屋8名
A棟和室①～⑧⇒各部屋5名
AL1・2　⇒各部屋2名
AL3・4　⇒各部屋1名

B棟101～204　⇒各部屋8名
B棟和室①～④⇒各部屋5名
BL1・2　⇒各部屋2名

C棟101～103　⇒各部屋9名
CL4　⇒2名

学習室①　⇒10名



傷病者発生対応マニュアル（新型コロナウイルス感染対策用）

利用団体

傷病者発生

↓

団体代表者より近くの内線電話もしくは携帯電話より事務室へ連絡
（対面での連絡は極力避ける）
内線：140、外線：0248-36-2331

自然の家職員

次長・所長へ第一報

団体または本人から状況聴取。
【内容】団体名、代表者名、代表者連絡先、傷病者名、年齢、性別、症状、現在位置、待機場所

【感染疑いの症状】
37.5℃以上または平熱比＋1℃以上の発熱、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ、咳、咽頭痛、味覚・嗅覚異常、体調不良など、いずれか一つでも新たに認めた場合

【感染疑いの症状以外の場合】

従来通り対応。
（保健室利用、病院連絡等）

・有症状者は退所いただくよう伝える。
・傷病者と同室の利用者が移動できる部屋を確保する。
・団体代表者へ傷病者の「行動履歴記入シート」と「傷病記録」の記入を依頼する。

・有症状者の退所準備
・有症状者と同宿利用者の部屋移動
・有症状者の「行動履歴記入シート」「傷病記録」へ必要事項を記入いただく

ただちに退所可能

退所まで時間を要する

退所まで時間を要する旨を事務室に連絡

・隔離部屋の準備
・有症状者を隔離部屋へ案内

職員の指示の元、有症状者を隔離部屋へ移動させる

有症状者退所

退所した旨を自然の家職員へ報告

・当該団体と施設での今後の活動や動向について検討協議。

有症状者退所後、次長・所長から本部へ報告

消毒作業、情報共有

・有症状者の宿泊室、活動エリア、導線の消毒・換気。（嘔吐処理同様、感染予防に充分留意）
・利用中の他団体へ、体調不良者が発生した旨と今後の対応について説明。
・食堂、ボイラー、清掃スタッフへ情報共有。

当該団体退所後

診断結果を速やかに自然の家へ報告していただく。
2 週間以内に感染が疑われる方が発生した場合は速やかに報告。

・該当者の診断結果や行動履歴等必要事項を聴取

診断結果を次長・所長等より本部へ報告

PCR 検査実施または陽性

・県南保健所へ連絡（0248-22-5486）
・同期間に利用の団体へ連絡、情報を HP にて公表

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

心おどる！
なすかしの森

なすかし7ピース

== いつもと違う環境の中で ==

パーセンド
100%鮮度の原体験
国立那須甲子青少年自然の家

〒961-8071　福島県西白河郡西郷村大字真船字村火 6-1
TEL 0248-36-2331　FAX 0248-36-2150　https://nasukashi.niye.go.jp/